

体験活動プログラム 活動報告

体験活動の推進に関するワーキンググループ

2013/03/01

目次

体験活動プログラム全体の概要.....	1
体験活動プログラム活動報告	3

I 体験活動プログラムの実施概要

＜プログラムの件数および募集人数＞

募集を行ったプログラムの総数は 47 件、募集人数は 464 名。

区分	プログラムの件数	募集人数
国内プログラム	34 件 (72%)	385 名 (83%)
海外プログラム	13 件 (28%)	79 名 (17%)
全プログラム	47 件 (100%)	464 名 (100%)

＜出願、採択状況＞

- 全プログラムでの総募集人数 464 人に対し、出願者数は 213 名 (46%:募集人数比)、出願者のうち、採択者は 176 名 (83%:出願者数比)。
- 国内プログラムは総募集人数 385 名に対し、出願者数は 98 名 (25%:募集人数比)、出願者のうち、採択者数は 90 名 (92%:出願者数比)。なお、採択者のうち、3 名の辞退者があった。
- 海外プログラムは総募集人数 79 名に対し、出願者数は 115 名 (146%:募集人数比)、出願者のうち、採択者は 86 名 (75%:出願者数比)。

区分	総募集人数	出願者数	採択者	不採択者
国内プログラム	385 名	98 名 〈25%〉	90 名 《92%》	8 名 《8%》
海外プログラム	79 名	115 名 〈146%〉	86 名 《75%》	29 名 《25%》
全プログラム	464 名	213 名 〈46%〉	176 名 《83%》	37 名 《17%》

〈 〉内は募集人数との比率、《 》内は出願者数との比率

なお、プログラムに出願し、不採択となった者が別のプログラムに出願しているため、出願者数は延べ数を示す。

＜実施プログラム＞

- 全実施プログラム 36 件に対し、WG 委員からの企画プログラムは 27 件 (75%)、公募プログラムは 9 件 (25%)。
- 国内プログラムは、WG 委員からの企画プログラムは 20 件 (80%)、公募プログラムは 5 件 (20%)。
- 海外プログラムは、WG 委員からの企画プログラムは 7 件 (64%)、公募プログラムは 4 件 (36%)。

区分	WG	公募	計
国内プログラム	20件 (80%)	5件 (20%)	25件
海外プログラム	7件 (64%)	4件 (36%)	11件
全プログラム	27件 (75%)	9件 (25%)	36件

<採択者の属性>

男女別内訳

○ 採択者 176名の男女別内訳は、男子学生が 109名 (62%)、女子学生が 67名 (38%)。

	男子学生	女子学生	計
採択者の男女別内訳	109名 (62%)	67名 (38%)	176名 (100%)

学年別内訳

- 採択者 176名のうち、学部前期課程学生は 71名 (40%)、学部後期課程学生は 105名 (60%)。
- 採択者 176名の学年別内訳は、1年生 34名 (19%)、2年生 37名 (21%)、3年生 58名 (33%)、4年生 44名 (25%)、5年生 2名 (1%)、6年生 1名 (1%)。

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計	男子	女子
法			8名	5名			13名	10名	3名
医			1名	1名	2名		4名	2名	2名
工			9名	10名			19名	16名	3名
文			15名	10名			25名	14名	11名
理			3名	1名			4名	4名	
農			8名	3名		1名	12名	7名	5名
経済			2名	7名			9名	6名	3名
教養	34名	37名	5名	3名			79名	44名	35名
教育			6名	4名			10名	5名	5名
薬			1名				1名	1名	
計	34名	37名	58名	44名	2名	1名	176名	109名	67名

教養学部欄の「1年」、「2年」の欄は、前期課程の学生を示す。

学部前期課程学生の科類別内訳

	文一	文二	文三	理一	理二	理三	計
1年	13名	4名	6名	9名	1名	1名	34名
2年	7名	6名	10名	8名	5名	1名	37名
計	20名	10名	16名	17名	6名	2名	71名

II 各プログラムの活動概要

本年度実施した**体験活動プログラム**は、**国内**での活動が **25** プログラム、**海外**での活動が **11** プログラムの**合計 36** プログラム実施し、参加者は、**国内**での活動に **90** 名、**海外**での活動に **86** 名の**合計 176** 名が参加した。

以下に各活動プログラムの概要を紹介する。

【国内プログラム：計 25 件】（プログラム名、概要、日程、参加学生数、活動場所等）

☆印：企画公募によるプログラム

1. Disaster-Resilient Planning, Design + Reconstruction

宮城県南三陸町にて、「MIT Japan 3/11 Initiative」建築家グループの活動に参加し、海外チームとの協同作業を体験した。波田谷地区の建設予定場所の調査、仮設住宅の訪問、地元住民の方との交流を行ったほか、地域文化と建築に関するグループプレゼンテーションを実施した。

日 程： 2012/7/31(火)～8/12(日)

参加学生： 6 名

活動場所： 宮城県南三陸町

備 考： マサチューセッツ工科大学(以下、MIT)の大学院学生や宮城大学の学生と活動



過去に建築した休憩所の視察中



建設した休憩所にサインをしている

2. 学術出版の体験的学習

東京大学出版会で、常務会・編集部・営業部・販売部で学術出版に係る業務を体験した。編集については本の内容を一から考えてプレゼンを行うなど、本を出版するための企画作りを経験した。

日 程： 2012/9/5(水)～9/26(水)

参加学生： 2 名

活動場所： 本郷キャンパス・一般財団法人
東京大学出版会

備 考： 東京大学出版会 URL
<http://www.utp.or.jp/>



東京大学出版会



編集スペース

3. 日本語教室でのボランティア

日本語教室の授業にアシスタントとして参加し、毎週決められた曜日の授業を1人1クラス以上担当した。主に、ディスカッションや会話のパートナーとなることで、留学生と交流をした。また、日本語教室のイベントでは湯島天神の菊祭りに出かけ、留学生と共に日本の伝統文化についての知識も深めた。

日 程： 2012/10/15(月)～12/21(金)

参加学生： 12名

活動場所： 本郷キャンパス・大学院工学系
研究科日本語教育部門

備 考： 工学系研究科日本語教育部門

URL

<http://www.jlcse.t.u-tokyo.ac.jp/>



打ち合わせ風景
(担当するクラスを決める)



担当するクラスでの授業風景
(会話のパートナーになる)

4. 文化ワークショップを基本とした過疎・高齢地区のまちづくり体験プロジェクト

過疎化、高齢化が進む北海道富良野市を訪れ、市民と交流しながら演劇ワークショップに参加し、老若男女が交流できるまちづくり事業を体験した。地域住民の方にインタビューしたり、学生同士がペアになりお互いの大切なものをテーマに表現したりするワークショップに参加した。

日 程： 2012/10/21(日)～10/24(水)

参加学生： 7名

活動場所： 北海道富良野市

備 考： 一般社団法人 富良野デザイン会議 暮らしステーション URL

<http://kurashi.furano.jp/index.html>

5. まなびの茶話会プロジェクト@文京・葛飾

本学大学院学生が、文京区、葛飾区の母親らと協同して実施している子供向けの科学教室や母親対象の茶話会に、実施補助として参加した。茶話会に出席している母親たちと交流し、地域のイベントを企画した。

日 程： 2012年9月～12月の期間で不定期に実施

参加学生： 1名

活動場所： 東京都文京区及び葛飾区

備 考： 主に大学院教育学研究科の教授がこの活動を支援

6. 即興ダンスワークショップ

振付家の香瑠鼓氏、森山開次氏、近藤良平氏をゲスト講師にお迎えし、ダンス創作活動を体験した。音楽や自らの声に合わせて踊り、個人別や団体別にダンスをした。一部のプログラムでは、創作したダンスを他の参加者の前で披露し合った。

日 程： 2012年10月～12月の期間で不定期に実施
参加学生： 7名
活動場所： 本郷キャンパス・教室及び第二食堂ホール
備 考： 主に大学院教育学研究科の教授がこの活動を支援



森山開次氏のワークショップ

7. 「学びのポイントラリー」地域教育支援参加

「学びのポイントラリー」は、自治体や市民団体が地域で行っている子どものための教育プログラムを主に小学校児童に紹介し、そのプログラムを実施及び運営している。東京都内の活動を中心に、運営委員の会議設営などの運営補助を行った。

日 程： 2012年9月～12月の期間で不定期に実施
参加学生： 1名
活動場所： 東京都文京区、江東区、台東区、渋谷区・公民館等
備 考： 学びのポイントラリーURL <http://www.chiiki-manabi.org/pointrally.html>

8. 農業体験と漁業体験

農業は、無農薬・無肥料の自然農業を貫き、それを主導している方のビニールハウスで、トマトやキュウリの収穫を体験した。

漁業は、生憎天候が優れず魚を獲るという体験はできなかったが、漁船に乗せて頂いたり、漁協での水揚げを見学した。深浦町の様々な方との交流や意見交換をした。

日 程： ① 2012/9/9(日)～9/13(木)、② 2012/10/18(木)～10/22(月)
参加学生： ① 4名、② 1名
活動場所： 青森県西津軽郡深浦町
備 考： ご協力頂いた深浦町の方々は、深浦町町長、同町の観光課、まちづくり戦略室、第三セクター「(株)ふかうら開発」、漁協、県立木造高等学校、地元住民で結成された町づくり応援隊「いいべ!ふかうら」、他多数の皆様



ビニールハウスでの収穫



漁協にて水揚げの見学



高校での交流会



深浦町長との面談



町づくり応援隊「いいべ!ふかうら」手を振り隊参加



チャンチャン祭り

9. 障がいという個性に触れよう

外来小児に対する支援（待合室に留まるように促しながら小児と一緒に遊ぶ。保護者が面談の際には、小児を預かる。）、不登校児童に対する支援（K フレンズという小中学生が勉強・遊び・運動を行うグループと一緒に活動。）、在宅重症心身障がい者に対する支援補助（散歩やふれあい体操、ゲームの準備や片付けなどの手伝い。）及び歩行困難な赤ちゃんの預かり保育の手伝いなどを行った。また、新患カンファレンスに同席した。

日 程： 2012/9/17(月)～9/28(金)

参加学生： 1名

活動場所： 東京都八王子市・島田療育センターはちおうじ

備 考： 島田療育センターはちおうじ URL

<http://www.shimada-yoiku.or.jp/shima8>



島田療育センターはちおうじ

10. Internship program at Lycee Franco-Japonais de Tokyo

東京国際フランス学園にて、人文社会系と理数系のクラスで、バカロレア取得のために高校2年生が取り組む自由研究のサポートを行った。グループ毎に図書館で研究を進める授業に相談役として参加し、論文執筆や口頭発表の準備の手助けを行った。

日 程： 2012年10月～12月の期間で毎週火曜日と木曜日

参加学生： 3名

活動場所： 東京都北区・東京国際フランス学園

備 考： 東京国際フランス学園 URL

<http://www.lfitokyo.org/index.php>



東京国際フランス学園

11. 海のフィールドワーク体験活動

日程1では東京大学農学部、日程2では埼玉大学による臨海実習の補助業務を行った。具体的には、海洋生物の飼育カゴについているフジツボを取る作業、沖釣り、栈橋での釣り、磯採集、部屋の片づけ、草むしり、水槽掃除を行った。

日 程： ①2012/9/10(月)～9/12(水)、② 2012/9/18(火)～9/20(木)

参加学生： ①1名、②1名

活動場所： 神奈川県三浦市・東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所

備 考： 東京大学大学院理学系研究科附属臨海実験所 URL

<http://www.mmbs.s.u-tokyo.ac.jp/>

12. 伊豆に学ぶ応用編 ー南伊豆という一地域との連携に学ぶー

第一回目は、害獣として駆除された猪と鹿を解体し食せる状態にし、放任竹林の整備を行った。(荒れた竹林に入り、枯れて倒れた竹をチェーンソーで切り出しての運搬。竹の間引き作業。) 第二回目は、炭を作る為に、竹を炭焼き窯に入れるのに丁度良い長さに鉋で切り揃え、新しく作る炭焼き窯の中へ運び入れた。第三回目は炭焼き窯を作った。(細い枝をドーム状になるように窯の上部に並べ、粘土を作り泥団子で窯の天井を作る。最終日は、粘土を足して屋根部分を補強し完成。)

日 程： 2012/10/17(土)～10/18(日)、12/1(土)～12/2(日)、12/15(土)～12/16(日)

参加学生： 3名

活動場所： 静岡県賀茂郡南伊豆町・東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

備 考： 農学生命科学研究科 附属演習林樹芸研究所 URL

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/jyugei/>



炭作り用の木の運搬



炭焼き窯の天井部分の骨格の作成



窯に打ち付ける粘土の作成

13. 癒しの森の落ち葉焚き

初日は、山中湖演習林の一区画にて落ち葉を熊手でかき集め、枯れ木を軸にして焚いた火を絶やさないように気を配りながら集めた落ち葉を焼いた。火を絶やさないように空気を送り、また効率よく落ち葉が焼けるように配置の方法や、後々火事にならないようにするための気配り等、森の中での火の取り扱いについて学んだ。翌日は、山中湖演習林を指導員の解説のもと散策し、森林の維持、活用の方法や森林のこれからのあり方について学んだ。

日 程： 2012/12/26(水)～12/27(木)

参加学生： 2名

活動場所： 山梨県南都留郡山中湖村・東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

備 考： 農学生命科学研究科 附属演習林富士癒しの森研究所 URL

<http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/fuji/>



落ち葉焚き



落ち葉焚きを行った森の全景

14. 家畜の多様な役割

馬の世話（馬舎の清掃と餌の運搬）と乗馬体験、子山羊への授乳。糞の堆肥化・牧草栽培・馬の品種や改良・牧場内の家畜の用途などの説明を受けた。乳牛の世話では、糞尿を掃除し、乳頭を拭き、消毒し、専用の機械を装着して搾乳をし、その後直腸検査を行った。ビニール手袋をはめ牛の直腸に手を入れ糞を掻き出したあと、腸壁超しに子宮や卵巣を触って妊娠しているか否かを確認した。豚の体重測定を手伝い、最終日は顕微鏡で卵原細胞の核分裂の様子を観察した。

日 程： 2012/10/19(金)～10/21(日)

参加学生： 2名

活動場所： 茨城県笠間市・東京大学大学院農学生命科学研究科附属牧場

備 考： 農学生命科学研究科 附属牧場 URL

<http://park.itc.u-tokyo.ac.jp/bokujo/>



乗馬体験 (牧場の皆様と)



餌の運搬



子山羊への授乳



搾乳



直腸検査



子豚の体重測定

15. 混沌と夢が同居する超高成長企業でのインターンシップ

MOVIDA JAPAN 株式会社で「かばん持ち」を体験した。主な活動内容は 1：社長とプロジェクトリーダーの参加する全ての会議に同席すること、2：参加者自身が MOVIDA 社に貢献できる仕事を考えて実行することの 2 点である。1 では企業との会議に限らず、スタートアップ起業家からの相談の受付、雑誌やインタビューの取材など多岐にわたる業務に同席し、議事録や所感をまとめた。2 では“MOVIDA School”に参加し、運営側としての改善点を主体的に考え、企画書として提出し発表を行った。

日 程： 2012/8/7(火)～8/17(金)

参加学生： 2名

活動場所： 東京都港区・MOVIDA JAPAN 株式会社

備 考： MOVIDA JAPAN 株式会社 URL

<http://www.movidainc.com/>

16. 陶板複製名画美術館を体験する

徳島県鳴門市にある大塚国際美術館で、美術館の諸活動を体験した。初日は大塚国際美術館の概要や美術館の営業活動について講義を受けた。2日目は美術館職員が実施するツアーや挙式に参加して、来館者への話し方や誘導方法を学んだ。最終日は、学生自身が選択した絵画について案内文章を作成し、ロールプレイングや意見交換など準備をした後、観光客に絵画の解説を行った。

日 程： 2012/9/20(木)～9/23(日)
参加学生： 8名
活動場所： 徳島県鳴門市・大塚国際美術館
備 考： 大塚国際美術館 URL
<http://www.o-museum.or.jp/>



美術館内の礼拝堂で開かれた挙式に参加



一人ひとりが選択した絵画について、来館者へガイド

17. 星空をすべての人のポケットに ～天体画像の社会的利用促進活動～ ☆

理学系研究科木曾観測所に1泊2日で滞在し、天体画像の処理やパブリックアーカイブ化を行った。木曾観測所で撮影された天空内の星画像データを色調の入力レベルや明るさ・コントラストを調整することで天空全体がきれいな星空として鑑賞できるようにした。また水平方向を60度ごとに6枚の写真と、垂直上向きと垂直下向きの2枚の写真、合わせて8枚の写真を球面状に連結することでパノラマ映像として星空そのままに近い状態で保存した。

日 程： 2012/9/14(金)～9/15(土)
参加学生： 1名
活動場所： 長野県木曾郡木曾町・東京大学大学院理学系研究科附属天文学教育研究センター木曾観測所
備 考： 東京大学木曾観測所 URL <http://www.ioa.s.u-tokyo.ac.jp/kisohp/index.html>



木曾福島駅の様子



天体観測データを修正している様子



色調の三色分解についての講義

18. 障がいや難病のある高校生や大学生・読み書き障がいのある小学生のための大学進学・就労への移行支援プログラム DO-IT Japan ☆

様々な障がいのある高校生と大学生への大学入学就職支援サポートおよび、小学生への学習支援、生活支援のサポートプログラムを行っている DO-IT Japan の活動に、学習・生活支援スタッフとして参加した。

日 程： 2012/8/1(水)-8/4(土)、10/4(木)-10/6(土)
参加学生： 2名
活動場所： 駒場第二キャンパス・先端科学技術研究センター
備 考： DO-IT Japan ホームページ URL
<http://www.doit-japan.org/>



夏季に DO-IT Japan の活動に参加した方と交流している様子

19. 軍縮・不拡散教育グローバル・フォーラム学生ボランティア ☆

「軍縮・不拡散教育グローバル・フォーラム」の会場で、会場の舞台設置とレセプションパーティでの簡易通訳を行った。演台や花台、机や椅子、水やコップ、パソコンやプロジェクターなどのセッティングを行い、外国からの招待客の英語での案内・誘導を経験した。国際フォーラムの舞台裏で、日本の平和外交を支える被爆地のローカルな努力を身体を動かして体験した。

日 程： 2012/8/8(水)～8/12(日)

参加学生： 8名

活動場所： 長崎県長崎市・長崎原爆資料館

備 考： 長崎市 URL <http://www1.city.nagasaki.nagasaki.jp/peace/japanese/action/projects/forum.html>



軍縮・不拡散教育
グローバル・フォーラムの様子

20. 地域で社会を学ぶ体験 in 長野・東御

長野県東御市で、「地方自治」「地域振興」「介護福祉」「健康増進」の4分野を体験した。介護現場や振興公社の見学、温泉運営や巨峰の王国まつりの手伝いを行った。地域・施設敬老会では体操の手本として参加し、活動最終日に地元住民の方に活動総括のプレゼンテーションを実施した。

日 程： 2012/9/12(水)～9/21(金)

参加学生： 2名

活動場所： 長野県東御市

備 考： 長野県東御市 ホームページ URL
<http://www.city.tomi.nagano.jp/>



地域・施設敬老会



巨峰まつりが開催され、
交通整備として運営補助

21. 東大こだま分教室の学習支援

授業のアシスタントとして、ディスカッションや会話のパートナー、工作作業などを一緒に行い、学習支援を行った。授業では生徒に教科書の内容解説や実験補助を行い、生徒の相談にもものつた。また、授業以外ではこだま祭の劇の練習や食を学ぶ会、スピーチコンテストなどの行事に参加した。

日 程： 2012/10/9(火)～12/25(火)

参加学生： 2名

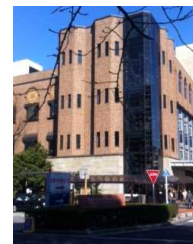
活動場所： 本郷キャンパス・都立北特別支援
学校 東大こだま分教室

備 考： 東大こだま分教室 URL

<http://www.h.u-tokyo.ac.jp/kodama/top/top.htm>



食を学ぶ会の様子
(生徒に昼食の献立を説明)



東京大学医学部附属病院

22. 森が社会に貢献するー持続可能な森づくりへの挑戦ー ☆

1 日目は、農地と林地の境目の印搜索と林種区分の為に番号をつけ（テープに番号を書いて貼りつける。）、森林博物館の見学と森林の観察をした。2 日目は、山火再生林・疎生林などの 50m x 50m の区画内の全林木の太さ・樹種を記録した。林尺を用いて太さを測定し、それを記録する野帳書きを行った。3 日目は人工林にて規定の区画内の全林木の太さの測定（決まった高さに印をつけ、目印のテープを貼り、太さを測定する。）を行った。虫の標本作りの手伝いも行った。

日 程： 2012/11/11(日)～11/15(木)

参加学生： 1 名

活動場所： 北海道富良野市・東京大学大学院農学生命科学研究科附属演習林

備 考： 農学生命科学研究科附属演習林 URL <http://www.uf.a.u-tokyo.ac.jp/hokuen/>



林尺を用いて太さを測定



林種区分

23. 「観光フィールド大学・加賀温泉郷まるごとキャンパス」体験事業 ☆

温泉郷や伝統工芸を擁する市の対外的 PR 戦略と交通政策等について、加賀市の市長や職員の方々から行政の現状、課題について研修を受けた。北陸新幹線の延伸に関連して、駅前開発や住民の足となる公営バスの経営問題も浮き彫りとなっている中で、いかなる方策を講じるべきかについて参加学生の意見が求められた。実情を肌で感じるために、温泉郷へ実際に足を運び、ラムサール登録湿地や重要伝統建築物保存地区を見学し、九谷焼絵付けも体験した。

日 程： 2012/10/18(木)～10/24(水)

参加学生： 2 名

活動場所： 石川県加賀市

備 考： ご協力頂いた加賀市の方々、加賀市長、同市の企画課、観光交流機構、交通室長、商工振興課長、地域福祉課参事、建築課長、文化課の皆様、九谷焼窯跡展示館、鴨池観察館レンジャー、九谷焼美術館副館長の皆様



外部評価会傍聴



最終日加賀市役所の皆様と

24. 農業・牧場作業体験@北海道

主に羊の世話と農作物の収穫を体験した。羊の世話は、餌やり（濃厚飼料を一定の割合で混ぜ、バケツに入れて小屋まで運びエサ箱に入れる。牧草は乾燥した牧草がロール状になっているので、そこから牧草をとり小屋まで運び草箱に入れる。）、水替えを毎日の基本とし、羊舎内の清掃（柵の移動、堆肥の廃棄）、爪切りなどを行った。かぼちゃは収穫から箱詰めまで行い、ジャガイモの収穫も体験した。

日 程： ①2012/9/15(土)～9/21(金)、②2012/9/22(土)～9/28(金)、
③2012/9/29(土)～10/5(金)

参加学生： 各1名、計3名

活動場所： 北海道中川郡美深町・松山農場

備 考： 松山農場 URL

http://matsuyama-farm.com/archives/010info_farm.htm



羊への餌やり



羊舎内の清掃



放牧された羊



ジャガイモの収穫（収穫後流れてくるジャガイモにまぎれた小石や草を除去⇒大きなカゴに入っていく⇒カゴが一杯になると収穫機からはずす。）

25. Documentary research for the French Embassy

在日フランス大使館の政治部および原子力部で、日本の国連政策、原子力に関する世論、原子力と福島県の給食についてリサーチを行い、レポートを作成した。大使館の中で職員の方と交流しながらレポートを作成するとともに、大使館の業務を生で見る体験をした。

日 程： 2012/10/1(月)～12/31(月)の期間で、各自定められた日程

参加学生： 3名

活動場所： 東京都港区・在日フランス大使館

備 考： 在日フランス大使館 ホームページ URL

<http://www.ambafrance-jp.org/spip.php?rubrique7>（日本語）



福島県の給食について発表



国連対策について発表



大使館職員との質疑応答



原子力に関する世論について発表後の質疑応答

【海外プログラム：計11件】(プログラム名、概要、日程、参加学生数、活動場所等)

☆印：企画公募によるプログラム

1. ワークキャンプ(主に障がい児者のデイセンター整備)

イバン族が住む地域の知的障がいをもつ人々が通うデイセンター「ムヒバ」の整備を行うワークキャンプに参加した。イバン族特有のロングハウスで生活しながら、デイセンター敷地内にある池の周囲に柵を立て、山の上に土砂をせき止めるダムを建設したほか、デイセンターの利用者やスタッフの方と交流した。

日 程： 2012/9/2(日)～9/9(日)

参加学生： 3名

活動場所： マレーシア サラワク州

備 考： 一般参加者6名と共に活動

アジア地域福祉と交流の会 URL <http://blog.ace-jps.com/>



池の周囲に柵を作成中



ダムが完成し、ムヒバ利用者
とキャンパー全員で記念撮影



柵の土台やダムの塗装に使用する
セメントを作成中

2. 手作りオクスフォード・サマープログラム—大学導入教育、市民性教育、ボランティア参加

プラトンに関する国際学会を聴講し、オクスフォード大学の教授や講師の方々の講義を受講(西洋古典学・法律・障がい者支援等)した。オクスフォードの Crown Court で実際の刑事裁判や、ロンドンでの Inns of Court、Royal Courts of Justice など法曹施設・裁判所を見学し、民事裁判官の方の講義を受講した。自由行動は、各自でアレンジ(散策、図書館活用等)し、最終日に2週間で学んだことを英語で発表した。

日 程： 2012/8/3(金)～8/20(月)

参加学生： 12名

活動場所： イギリス オクスフォードシャー州・オクスフォード大学

備 考： オクスフォード大学 クライスト・チャーチ URL <http://www.chch.ox.ac.uk>



オクスフォード大学
クライスト・チャーチ



国際学会聴講

3. Monterey Bay during the week

アメリカ、カリフォルニア州のモンタレー湾に生息する豊かな海洋生物群に触れ、水族館、Monterey Bay Aquarium Research Institute、Moss Landing Marine Laboratories 等の研究機関を見学した。また、スタンフォード大学の大学院学生に構内を案内してもらい、留学生活のお話を伺った。

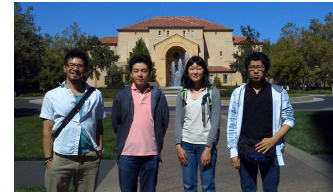
日 程： 2012/9/11(火)～9/17(月)

参加学生： 2名

活動場所： アメリカ カリフォルニア州

備 考： Monterey Bay Aquarium URL

<http://www.montereybayaquarium.org/>



スタンフォード大学の見学



MBARI 研究所の装置

4. 海外の美術館での体験活動

台湾の国立故宮博物院を訪問し、学芸員の業務を経験した。国立台湾大学の現地学生と交流会を開き、両国の学生の学習環境の違いやアルバイトについて議論した。議論終了後は現地学生に台湾特有の夜市を案内してもらい、交流を深めた。

日 程： 2012/9/20(木)～9/23(日)

参加学生： 9名

活動場所： 台湾 台北市

備 考： 台湾、故宮博物院 URL

http://www.npm.gov.tw/ja/visiting/exhibit/exhibit_03.htm



台湾大学学生とアルバイトに関して議論



発掘された天目茶碗

5. 欧州国際共同研究ラボ EUJO-LIMMS パートナー機関の訪問と現地学生との交流

本学の生産技術研究所が主導している欧州国際共同研究ラボがスイスで実施する information day に参加した。スイスで実施された学会を聴講したほか、欧州国際共同研究ラボのパートナー機関であるドイツやスイスの研究機関でのクリーンルームや大学内の見学、共同作業を通じて現地学生と交流した。

日 程： 2012/12/7(金)～12/15(土)

参加学生： 7名

活動場所： フランス パリ市、スイス ローザンヌ市、
ドイツ フライブルグ市

備 考： 東京大学生産技術研究所 フランス国立科学研究センター

http://limmshp.iis.u-tokyo.ac.jp/mediawiki/index.php/Main_Page



クリーンルームの見学



ローザンヌ市で行われた info day で生産技術研究所 藤井教授よりお話を伺う

6. Work experience in the international venture business in Boston

アメリカ、ボストン市にあるベンチャー企業で、約2週間のインターンシップを体験した。国際プロジェクトに関する学習や、学生の受け入れ先企業のソフトウェアに関する学習・実践、企業・研究所訪問に加え、現地大学を訪れた際には MIT の学生と交流した。

日 程： 2012/9/12(水)~9/26(水)

参加学生： 4名

活動場所： アメリカ マサチューセッツ州

備 考： 学生受け入れ企業

Global Project Design, LLC URL

<http://www.gpdesign.com/>



受け入れ企業の Global Project Design (GPD)社で活動



GPD の CEO と夕食



University of Connecticut で現地の学生たちと集合写真

7. 現地のサマースクールの参加

ペトロナス工科大学のサマースクールに参加した。具体的には教室内で行われる4つの授業（Ⅰ：Malay Language、Ⅱ：Malaysian Studies、Ⅲ：Traditional Music、Ⅳ：Traditional Dance）に参加した。授業がない日はプログラム担当者や現地学生の案内のもと、クアラルンプールの独立記念パレードやマラッカの博物館、ヒンドゥー寺院など、マレーシアの様々な土地を訪問することで現地の歴史や文化を学んだ。

日 程： 2012/8/26(日)~9/8(土)

参加学生： 14名

活動場所： マレーシア ペラ州・

ペトロナス工科大学

備 考： Universiti Teknologi. PETRONAS

URL <http://www.utp.edu.my/>



ケリーズ・キャッスル前にて



マレーシア伝統の家



メルデカ・スクエア（独立記念公園）にて

8. アメリカで仕事の現場の話を聞いてみよう ☆

本学のOB・OGの勤務先である法律事務所 Madison Forester、NPO 法人 Japan Society、みずほコーポレート銀行 NY 支店、コロンビア大学、監査事務所 KPMG、ヘッジファンド Asia Tiger Fund を訪問し、講演の聴講や討論、質疑応答をした。また、IMF、UN や医学研究室に勤務のOGとミーティングを行い、最終日にはプリンストンで農場体験をしていた学生とともに食事会に参加し、OB・OGの皆さんと交流を深めた。

日 程： 2012/8/27(月)～8/31(金)

参加学生： 10 名

活動場所： アメリカ ニューヨーク州

備 考： さつき会アメリカ URL

<http://satsukiamerica.todai-alumni.jp/>



国連



みずほコーポレート銀行
(先輩4人と)



コロンビア大学建築学部

9. オーガニック農場で Sustainable agriculture 体験(米国) ☆

午前8時から午後1時まで野外での農作業を体験した。具体的な内容としては雑草取りと収穫(トマトが中心で、ニンジン、ビート、ウリ、メロン、スイカ、バジル、長ネギ、ピーマンその他葉物野菜)、出荷に向けての仕分け、肥料としての馬糞を運搬した。滞在先の農家がトマトの加工製品の製造資格を持っていたため、トマトペースト、ケチャップ、トマトジュース作りを手伝った。その日の作業内容は朝食時に全体に伝えられ分担した。その他鶏小屋の開け閉め、牛の搾乳作業の手伝いを一部の人が担当し、料理の準備・後片付け、掃除、といった最低限の家事を行った。基本的に午後と週末は自由に活動した。

日 程： 2012/8/16(木)～9/16(日)の期間で、各自の希望日程

参加学生： 13 名

活動場所： アメリカ ニュージャージー州・Orchard Farm Organics

備 考： Orchard Farm Organics にてアメリカ・フランス・グアテマラ・ベリーズ・エチオピアなど様々な国籍の人達と活動を共にした。



参加者同士での昼食



草取り作業



トマトの収穫作業



出荷に向けての仕分け作業

10. フランスの大学・企業など体験し卒業生と語り合う ☆

フランス、パリにある École Polytechnique の学寮でルームシェアをしながら、現地で活躍する本学卒業生と交流した。パリ近辺に住む卒業生との交流会では、仕事内容、フランスで働くことになった経緯等を伺い、実際に NHK 欧州総局、OECD 本部などの仕事現場を見学し将来の職業を考えるきっかけを得た。文化・芸術面では、セーブル焼き工房を見学したほか、参加学生自身でアポイントメントをとり文化省を訪問し、フランスの文化政策についてのお話を伺った。日仏関係者の前で活動を総括するプレゼンテーションでは関係教職員や日本語クラス履修学生と質疑応答を行ったり、École Polytechnique のホールで研究成果を一般公開するイベントに浴衣を着て参加したりするなど、現地に住む方々と交流する機会をもった。

日 程： 2012/9/20(木)～9/30(日)

参加学生： 10 名

活動場所： フランス パリ市

備 考： フランスに住む卒業生や École Polytechnique の日本語専攻の学生と交流した。



パリに到着後、出迎えてくれた現地学生とお弁当を食べながら交流



École Polytechnique で行われたイベントに参加



OECD でお話を伺う

11. UROP at MIT ☆

MIT(マサチューセッツ工科大学)の Sadoway 研究室を訪問した。UROP 学生や Ph.D.コースの学生から Sadoway 研究室の研究内容について話を聞き、Thermodynamics の授業に参加した。体験活動後半はハーバード大学を訪問し、在籍する日本人学生の案内のもと、Eggan 研究室にて研究室の設備等について説明を伺った。研究室以外では UROP 学生と一緒にアメリカ独立戦争に関わるフリーダムトレイルを訪問し、現地の歴史・文化に触れた。

日 程： 2012/9/17(月)～9/25(火)

参加学生： 2 名

活動場所： アメリカ マサチューセッツ州・マサチューセッツ工科大学

備 考： Massachusetts Institute of Technology URL <http://web.mit.edu/>
